

小林陵くんがスキージャンプ界を席巻していますね。淀井病院からスキージャンプ界への進出は難しいですが、研究会や学会等へ参加することや、研究結果を学会発表することは医療の世界で仕事をする上で勉強にもなるし有意義なことです。

今回は、臨床研究などを行うにあたり、倫理面が厳しくチェックされる昨今でありますので、当院でも倫理委員会を設けることにいたしました。学会等への研究報告や症例発表を行うために倫理的な問題がないかどうかを検討するためのものです。日常の臨床だけにとどまらず、次のステップとして考えてみてはいかがでしょうか。

## 倫理委員会メンバー

医師(上野宏樹、朝田真里子、小早川等)

事務長(平井誠)

看護部長(人見正)

薬剤部長(樋口善次)

看護師長:一般病棟(立石美穂子) 療養病棟(瀧下綾子) 外来(桂和代)

病院外の構成員 桑の実 施設長(淀井芳子)



日常の診療の疑問を放置するのではなく、調べてみることは大事です。教科書に載っていないことは意外と多く「なぜ?」と思ったことはありませんか? そういったことを調査、研究することでいろいろ見えてくることがあります。委員会では、その方法が倫理的に正しいかどうかを検証します。

## 申請への流れ

- ①臨床研究計画の立案(研究実施計画書の作成)
- ②臨床研究倫理審査申請書を病院に提出
- ③倫理委員会が開催(毎月の定例会議の終了後)  
申請者は研究実施計画書の内容に沿って研究の説明を行う。  
出席委員2/3以上の賛成で可決。
- ④審議結果は、院長から申請者に連絡する。



# 倫理

各種申請書はGYO-KAInewsフォルダからプリントアウトできます。書き方などがわからない方は、上野までご連絡ください。一歩進んだ臨床の世界へ滑り出していきましょう。

